

令和六年五月二十三日 信者心の基勉強会 健康編

神 示

「運命」に導かれた人生を歩むことで 人間は

病気になるらず 事故・災難を避けられる

この人生の真実を知って 信者は

「運命」に重なる人生を 心掛けること

「運命」に重なる人生を歩むため 信者が気付くべきことは三つ

一つに 自分の実体を知ること

「教え」を学べば 自然と分かる

二つに 奉仕する心を身に付けること

「教え」を実践すれば 奉仕に生きる人と成る

三つに 家族が「教え」を学び 「真理」で触れ合うこと

家族で教会に出入りを重ねれば

家族の心は一つに重なり 愛と信頼が深まって行く

健康を手にして 人生を全うする――

この思いがかなってこそ

有限の時間を「生きる」 人生の全てが生きてくる

真の健康を手にするために 信者は

「教え」を人生の支えに「生きる」 信念が必要

この思いが 人生を大切に「生きる」 奉仕心を芽吹かせ

「心の道」に良き因を残す

大往生を遂げる姿が ここにある